

大興善寺「恋人の聖地」認定

県内2カ所目で 神話伝わる「契山」ちなみ

恋人の聖地に認定された契山・大興善寺―基山町園部



基山町

ツツジの名所として知られる

プロジェクト。7月1日現在で全国で115カ所が選ばれている。

大興善寺が、静岡県NPO法人「地域活性化支援センター」が選定する「恋人の聖地」に選ばれた。ツツジの花言葉は「愛の喜び」。寺が建てられた契山には夫婦の契りを交わした神話が残る。県内から選ばれたのは浜野浦の棚田(玄海町)に続いて2カ所目。

少子化対策や地域活性化のため、プロポーズにふさわしいロケーションを決めようと、2008年から始まった

契山の名前の由来は諸説あるが、「五十猛いそむねの命」という神が、小川で洗濯をしていた「さこの姫」を気に入り、夫婦の契りを結んだ伝説も残る。庭園には縁結びのお守りを買うことができる「契山観音」をはじめ、「子宝船」と名付けられた天然石、幸せが訪れる鐘など縁起のいい名所も多い。「ツツジや紅葉のシーズンに合わせ年間2、3組

が拳式前の前撮りで訪れる」と神原玄應住職(76)。

今回の選定は寺とCSO業縁基山、町観光協会が申請。今後は町イメージキャラクター「きやまん」とのコラボ商品開発や街コン開催などの企画を練る。観光協会事務局の亀山博史さん(33)とCSO業縁基山の久保山義明理事(45)は「近くには鳥栖プレミアム・アウトレットもあり、町に足を運んでもらう仕掛けができれば」と話す。(川崎剛)